



第 52 号  
2009 年 11 月 9 日  
LET 九州・沖縄支部事務局発行  
〒899-5193 鹿児島県霧島市真孝 1460-1  
鹿児島工業高等専門学校 坂元真理子研究室内  
TEL・FAX (0995)42-9067  
E-mail: secretariat@jlet-ko.org  
編集: 柿元悦子・長加奈子・事務局

## 第 39 回 LET 九州・沖縄支部研究大会を終えて

第 39 回 LET 九州・沖縄支部研究大会実行委員長  
小川直義（長崎県立大学シーボルト校）

2009 年 6 月 6 日長崎県立大学シーボルト校において、第 39 回第 39 回 LET 九州・沖縄支部研究大会「インターネットリソースの新しい活用法による外国語教育」が行われた。前日の天気予報では雨の予報であったが、学会員の普段の心掛けがよかったのか、この季節にしてはあまり暑くない曇り空の「学会日和」で迎えることができた。9 時 30 分から受付・登録ということであったので、8 時 30 分に会場に行ってみると、すでに大津敦史支部長をはじめ数名の会員が到着されており会場設営に取り掛かっておられた。（写真参照）



10 時に樋口昌彦先生の総合司会で開会行事が行われ、10 時 20 分から研究発表午前の部が 3 室に分かれて行われた。実施校としては、研究発表がトラブルなしで行われ

ているかどうか気がになるところで、ひとつひとつ回ってみたところ、どの部屋も発表や質疑応答が熱心に行われていて、司会が進行上、中止を促す場面も見られた。11 時 25 分に午前中の研究発表 6 件が終了し、11 時 30 分からメイン会場に場所を移して早稲田大学教授の中野美知子先生による特別講演が行われた。「早稲田大学の語学教育 3 段階と ICT の活用」というタイトルで、統計を交えた説得力のある貴重な講演であった。講演の後、昼食を済ませ、評議会、支部総会を行い、14 時 20 分から研究発表午後の部が行われた。午後の部は各室 1 件であったが、午前の部同様、各部屋とも熱心な発表、質疑応答が行われていた。その後、30 分ほど展示を見学して回り、15 時 30 分からシンポジウム「ICT 特にインターネットリソースの新しい活用法による外国語教育」が鈴木千鶴子先生の司会の下で行われ、4 人のパネリスト（清永克己先生、板越浩一先生、Joel Hensley 先生、上村俊彦先生）の発表の後、フロアーから活発な提案や議論が出された。17 時に閉会式が予定通り行われ、学会は無事に終了した。

その後、送迎バスで浦上駅近くのウェルシティ長崎に移動し懇親会が行われ、ビー

ル片手に、研究発表の続きや外国語コミュニケーションの将来などについて語り合った。懇親会の後も語り足りない（飲み足りない？）面々は、さらに2次会、3次会と会を重ねることになるが、こちらのほうは自由行動であり、また、何らかの理由で参加できなかった御仁もいると聞いているので、その経過についてこれ以上述べるのは差し控えることにする。

さて、このようにして、第39回大会は大

過なくすべて終了することができた。これも偏に、支部事務局はじめ会員の皆様、わざわざ東京から来ていただいた講師の中野美知子先生、本学の同僚（特に、影の実行委員長である山内ひさ子先生）、裏方で支援してくれた学生諸君、そして本大会に快く展示を申し出てくれた業者の皆様、その他多くの方々のお陰である。心からお礼申し上げます。

【参考】プログラムの出席者数一覧（総数 63 名）

プログラム	出席者	プログラム	出席者
(午前) 第1室 研究発表 1	11	(午後) 第1室 研究発表	20
研究発表 2	19	第2室 研究発表	7
第2室 研究発表 1	13	第3室 研究発表	17
研究発表 2	9	特別講演	41
第3室 研究発表 1	17	シンポジウム	45
研究発表 2	18	懇親会	28



## 来年は LET 九州・沖縄支部 創立 40 周年記念大会を開催します！

LET 九州・沖縄支部長  
大津敦史（福岡大学）

本年度の支部研究大会は久しぶりに長崎県での開催でしたが、多くの方々にご出席いただきました。本当にありがとうございました。大会に関する詳しいご報告は他の方にお問い合わせとして、個人的には、実行委員長である小川直義先生（長崎県立大学シーボルト校）にお世話頂いた長崎市内での 2 次会が大変印象的でした、と書くあまりに不謹慎でしょうか？しかしながら、2 次会にあれだけの人数が参加したことは、これまであまりなかったことではないでしょうか？大会のみならず様々な点で細かな配慮をして頂いた小川先生そして山内ひさ子先生（長崎県立大学シーボルト校）に心から感謝申し上げます。

さて、支部員の皆さん、来年度は支部創立 40 周年の記念すべき年です！現在、40 周年記念大会実行委員会を立ち上げて、詳細な検討を加えているところです。実行委員の顔ぶれは、以下の通りです：

- ・島谷 浩先生（熊本大学）
- ・柿元 悦子先生（福岡産業大学）
- ・古村 由美子先生（九州大学）
- ・柴戸 直善氏（西南学院大学）
- ・大津 敦史（福岡大学）

当支部では、これまで、歴代の支部長はじめ支部事務局と運営委員のおかげで、全国大会その他の時のために貯蓄してきたプール金がかかなりの額となりました。また、昨年福岡で盛大に開催された WorldCALL 2008 の際に拠出した支部負担金につきましても、大会が無事黒字決算で終了したため、大会本部事務局より、ほぼ 90%が支部に返却されました。そこで、今回支部創立 40 周年記念大会を計画するに当たり、来年度の支部予算に大会準備金として

100 万円を計上し、支部員の皆様に一部還元する形で運営したいと考えております。どうか皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

それでは、以下に記念大会の概要（予定）をお知らせいたします：

- ・日程：2010 年 6 月 5 日（金）～6 日（土）
- ・会場：ハウステンボス
- ・初日（6 月 5 日）：
  - 1) 13：00 より開会式、記念講演、支部総会
  - 2) 15：00 より口頭発表、展示見学、テーマ別シンポジウム
  - 3) 18：20 より閉会式
  - 4) 18：50 より懇親会
- ・2 日目（6 月 6 日）：

各種オプションツアー（ハウステンボス内見学、環境（エコロジー）設備見学、佐世保パールシー・リゾートなど）

開会式の時間を午後からに設定しておりますので、九州一円のみならず関西・中部・関東からもご参加いただけるはずですが、アカデミックなプログラムは全て「ユトレヒト」と呼ばれるコンベンションエリアで一括して開催します。懇親会の会場は、そのユトレヒトから徒歩 5 分の位置にあるフォレストヴィラ レストラン「トロティネ」を貸し切って開催します。通常はハウステンボスへの入場だけに 3,200 円必要ですが、今回はハウステンボス内にご宿泊される方は入場無料となるばかりか、ご希望の方は 5,600 円のパスポートを 2,310 円（2 日間有効）で提供する予定です。また、園

内でのご宿泊は、古き良きオランダの街並みをイメージした「ホテルアムステルダム」、または森と湖に抱かれた別荘感覚のユテージ「フォレストヴィラ」が半額以下の格安料金でご利用いただけます。ぜひ親しいグループやご家族でご利用ください。もちろんお1人での宿泊も可能です。

LET九州・沖縄支部40周年記念大会に

ぜひご参加いただき、初夏の1日ないし2日をボタニカルリゾート ハウステンボスで自然のリズムに合わせてゆっくりと過ごしてみませんか？尚、大会に関する詳しい情報は、今後支部のホームページなどで随時公開する予定にしています。ぜひご覧くださいませ、お願い申し上げます。

## 第49回外国語教育メディア学会全国研究大会参加報告

田上優子 (福岡女子大学)

2009年8月4日から6日まで流通科学大学(神戸市)で開催された「外国語教育メディア学会全国研究大会」に出席いたしました。

大会事務局の先生方の精力的なご準備と各部署の連携により、二ヶ国語使用者の言語処理と認知力についてのEllen Bialystok先生(カナダ・ヨーク大学)の基調講演への参加250名をはじめとして、脳科学研究の酒井邦嘉先生(東京大学)、バフチン言語哲学と第二言語教育についての西口光一先生(大阪大学)と、いずれのご講演も170名を超える参加者であったことが何よりもこの全国大会が成功裏に終了したことの証だと思えます。

大会テーマ「外国語教育のパラダイム：認知、脳、社会文化の統合に向けて」に基づき100件を超える多様な研究発表がおこなわれました。

メディア教育学会の大会にふさわしく、発表内容は(賛助会員も含めて)「WEBツールを利用した学習システム」や「e-learningと対面型授業のブレンディング学習・教育」についてより深化(進化)した発表が数多く見受けられました。他方、四技能の指導方法・語彙指導・音読・シャ

ドーイング・ストラテジー因子に関するヒューマンベースのアクションリサーチも多く報告されました。

私は、本学会で勤務校におけるTOEIC授業の実践報告を発表させていただく機会を得ましたので、他大学の「英語」共通教育の取り組みに関する発表を中心に拝聴しました。外部試験を、単に資格試験、技能・訓練科目と位置づけず、教養教育の教材として吟味・精査し、異文化理解教育にまで授業設計として練りこんでおられた他大学の実践例には感動すら覚えました。

昨今、プロジェクト型の学習形態が注目され、学生たちがより主体的に学習に関わることのできる「しかけづくり」の必要性が言語教育の場でも採り上げられるようになってきましたが、大会を通じた私自身の大きな収穫は、積極的に関わる学びの楽しさを久しぶりに感じる事ができたことであつたと思えます。

皆さんも、年に一度の全国大会で、普段は交流できない方々と情報・意見交換をし、初めて学会参加をした時の瑞々しい感覚を味わってみてはいかがでしょうか？

## 事務局からの連絡・報告

### 【2010年度LET全国研究大会】

2010年8月第1週 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校にて、開催予定です。なお、発表申込期間は例年どおりならば2010年2月15日が締め切りになっておりますが、まだ募集が開始されていません。発表

題目をお持ちになっている会員の皆様は応募の準備をしておいていただきたいと存じます。詳しいことは、本部ホームページ、支部ホームページで更新される情報をご確認ください。

### 【2010年度LET九州・沖縄支部研究大会】

2010年6月5日（土曜日）に、第40回外国語教育メディア学会（LET）九州・沖縄支部研究大会-支部設立40周年記念大会-をハウステンボス内ホテル・ユトレヒトにて開催予定です。詳しいことは後日支部メーリングリストにてご案内いたします。ま

た、支部ホームページで更新される情報をご確認ください。全国研究大会同様、支部研究大会での研究発表をお考えの会員の皆様、応募の準備をしておいていただきたいと存じます。

### 【会費納入のお願い】

LET九州・沖縄支部の2009年度会費振込用の振込用紙を年度当初送付しておりますが、なくされた方は、郵便局備え付けの郵便振込用紙に、振込番号に「01740-7-41405」、加入者名に「LET九州・沖縄支部」とご記入の上、会費をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。郵便局備え付けの郵便振込用紙の場合には手数料が発生いたしますが会員様の方でお支払いいただきますようお願いいたします。また、2008年度までの会費をまだ納

入されていない会員の方は、できるだけ早めに振り込んでいただきますようお願いいたします。支部の円滑な運営にご協力ください。振込用紙の通信欄には必ずメールアドレスをお書きください。なお、住所・所属等に変更が生じた場合には、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくとともに、会員IDシステムによりWebページからの変更も忘れずに行なっていただきますようお願い申し上げます。

**【LETホームページ】**

<LET本部> <http://www.j-let.org/>

<LET九州・沖縄支部> <http://www.j-let.org/kyushu-okinawa/>

**【LET九州・沖縄支部事務局】**

〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚1-1-2

宮崎公立大学 竹野茂研究室内 (TEL: 0985-20-4789, FAX: 0985-20-4789)

〒899-5193 霧島市隼人町真孝1460-1

鹿児島工業高等専門学校 坂元真理子 (TEL: 0995-42-9067)

**【LET ホームページ】**

<LET 本部> <http://www.j-let.org/>

<LET 九州・沖縄支部> <http://www.j-let.org/kyushu-okinawa/>

**【LET 九州・沖縄支部事務局】**

〒880-8520 宮崎県宮崎市船塚 1-1-2

宮崎公立大学 竹野茂研究室内 (TEL: 0985-20-4789、FAX: 0985-20-4789)

〒899-5193 霧島市隼人町真孝 1460-1

鹿児島工業高等専門学校 坂元真理子 (TEL: 0995-42-9067)